

STAR

フロントモータ

取扱説明書・部品表

製品コード	K86182
型 式	HFM1370
部品供給型式	AFU1370-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意

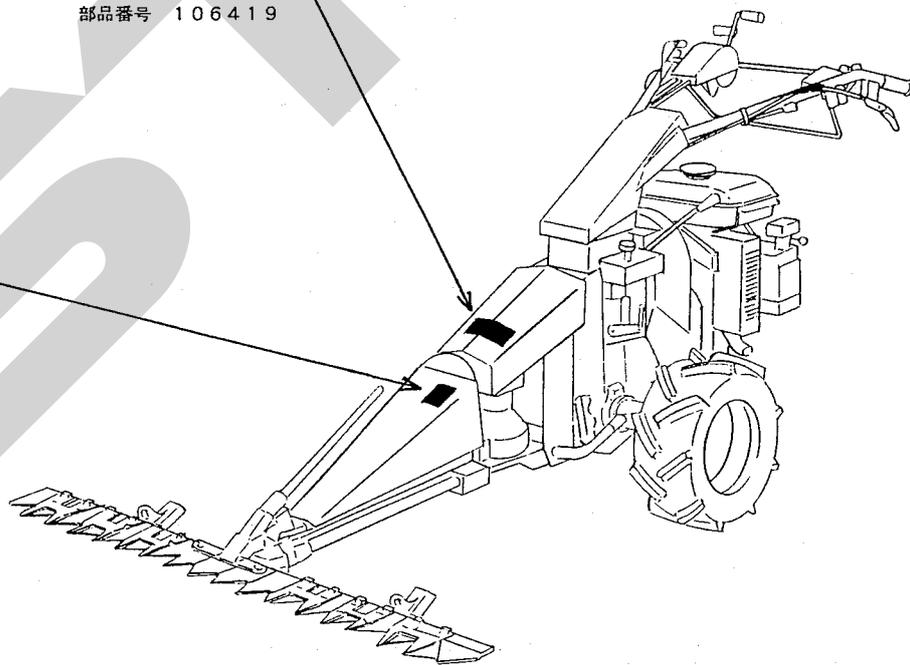
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

 注意	<p>本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行ってください。 2. 酒を飲んだとき、過労、疲労、病気や怪我しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。 3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。 4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。 5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力減速や動力停止（エンジン、電線など）をしてから行って下さい。 6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。 7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようにすすめて下さい。
--	---

部品番号 106419

 注意	<p>運転中、刈取部に接触すると切断され、ケガをする事があります。</p> <p>手足を入れないで下さい。</p>
--	---

部品番号 106503



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびティラーの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- ヘルメットを着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。

アタッチメントは当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。

窓、戸などを開け、十分に換気してください。

▲注意

- エンジンを始動する時、走行クラッチ及びPTOクラッチを切り、チェンジレバーを「N」にして行わないと、ティラーが暴走したり、作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。

走行クラッチ・PTOクラッチを切り、チェンジレバーを「N」にして行ってください。

作業機を着脱する時は

▲注意

- 作業機をティラーに着脱する時、エンジンをとめずに行くと、誤操作によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をティラーに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

移動走行する時は

▲警告

- 坂道でサイドクラッチを操作すると、ティラーが思わぬ方向に急旋回し、事故を起こす事があります。速度を遅くしてハンドル操作で旋回してください。
- 後進する時、足元や後方に障害物があると、転倒しティラーに巻き込まれたり障害物との間に挟まれてケガをする事があります。障害物をさけ、低速で後進してください。

▲注意

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒事故を起こす事があります。低速走行してください。
- 高速で走行する時、旋回のためにサイドクラッチを切るとティラーが急旋回し、思わぬ事故をまねく事があります。ハンドル操作で旋回してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると、転落事故を起こす事があります。路肩は走行しないでください。
- 高低差が大きい段差を乗り越えようとする時、ティラーが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。あゆみ板を使用してください。
- 作業機への動力を切らないで走行すると、駆動された刈取部により周囲の人にケガを負わせる事があります。移動走行する時は、PTOクラッチを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- ハウス内などの室内作業をする時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気をしてください。

▲注意

- 運転中、刈取部に接触すると切断され、ケガをする事があります。手足を入れないでください。
- 傾斜地で走行クラッチを操作したりチェンジレバーを「N」にすると、暴走する事があります。走行クラッチ、チェンジレバーを操作しないでください。
- 機械の調整や付着物の除去などを行う時、エンジンをとめず作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

ティラーから離れる時は

▲注意

- ティラーから離れる時、エンジンをとめずに傾斜地や凹凸地などに駐車すると、第三者の不注意によりティラーが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。平坦で安定した場所に駐車し、ティラーのエンジンをとめてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- エンジンをとめずに、回転部や可動部の付着物の除去作業などを行うと、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をする時は

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- エンジンをとめずに点検すると、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめてから行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーや作業機が不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のため外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

も く じ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	4
作業中は	3		

1 ティラーへの装着

1 各部の名称とはたらき	7	4 ティラーへの装着	8
2 適応ティラー	7	1. ティラーへの連結	8
3 組立部品	7		
1. 解 梱	7		
2. 組立部品の明細	8		
3. 組立要領	8		

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	2 エンジン始動での点検	9
1. ティラー各部の点検	9	3 給油箇所一覧表	10
2. 連結部の点検	9		
3. 製品本体の点検	9		

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	10	4 作業要領	10
2 作業を始める前に	10	1. 作業速度及びエンジン回転数	11
1. 作業状態への切替え	10	2. 作業方法	11
3 作業のための調整	10	5 運搬	11
1. 刈高さの調整	10	1. 運搬状態への切替え	11

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	11	3 長期格納する時	12
2 ティラーからの切り離し	12		

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	13	3. ナイフバーAsyの交換	13
2 各部の調整	13	4. ナイフクリップと ウェアリングプレートの調整	13
1. ナイフセクションの研磨	13		
2. ナイフセクションの交換	13		

6 不調時の対応

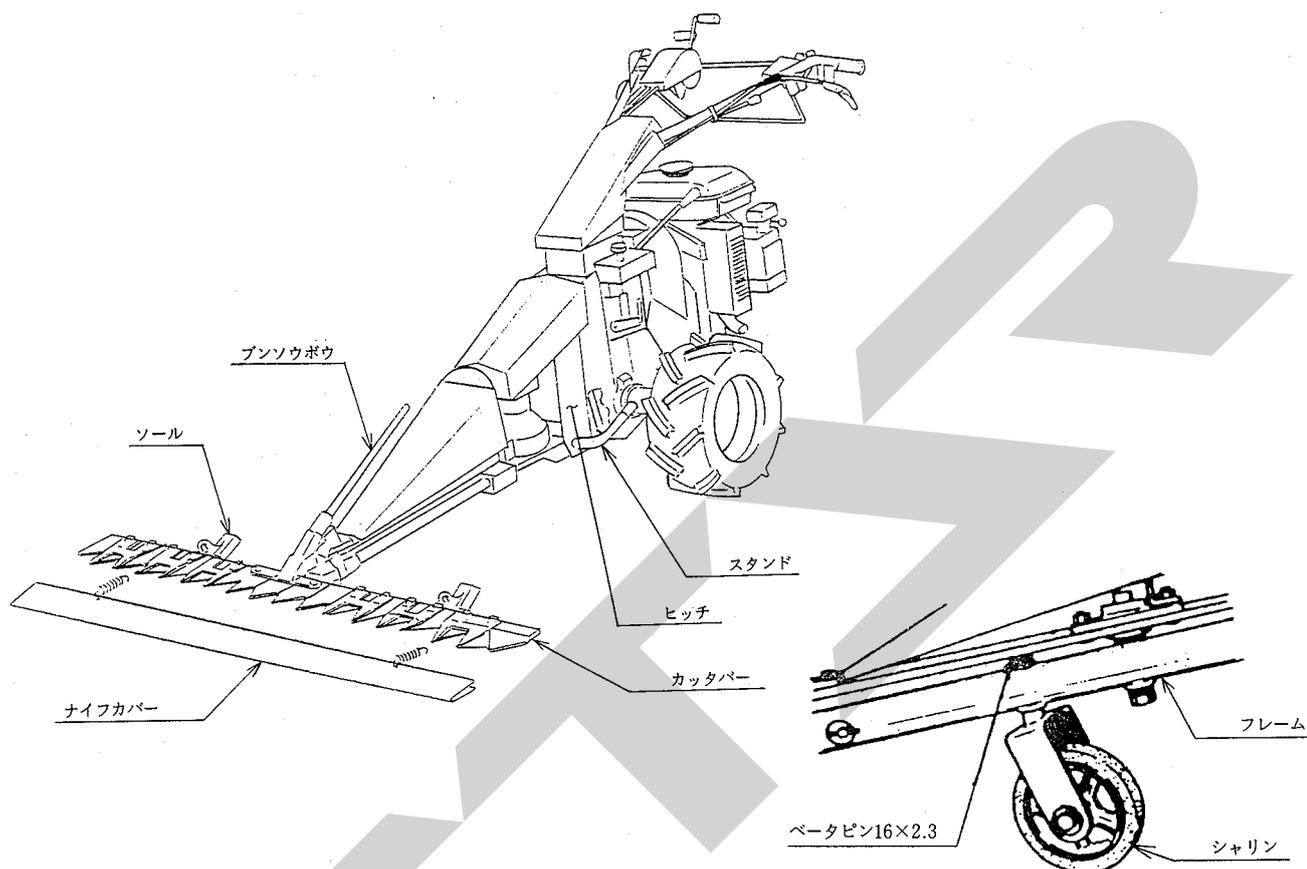
1 不調処置一覧表	15
-----------	----

7 部品表

1 ティラーへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. ヒ ッ チ
作業機とティラーを連結します。
2. スタンド
作業機をティラーから切り離れた時に、作業機の姿勢を維持するために使用します。
3. ソ ー ル
取付ナットを緩め、刈高さを調整します。
4. シャリン
運搬する時、フレームに差し替えて使用します。
5. ナイフカバー
作業しない時、カッターに取り付けてください。
6. ブソウボウ
刈り取った草を左右に分けます。

2 適応ティラー

本製品は、ティラー（ニューファームメイト）との装着により的確に性能を発揮できるよう設計されています。

この製品の適応ティラーは次のとおりです。

- HT K8070
- HT M8070
- HT Y8070

3 組立部品

1. 解 梱
 - フレームユニット
木枠に固定している部品をほどいてください。
 - カッターユニット
段ボール箱を開梱してください。

2. 組立部品の明細

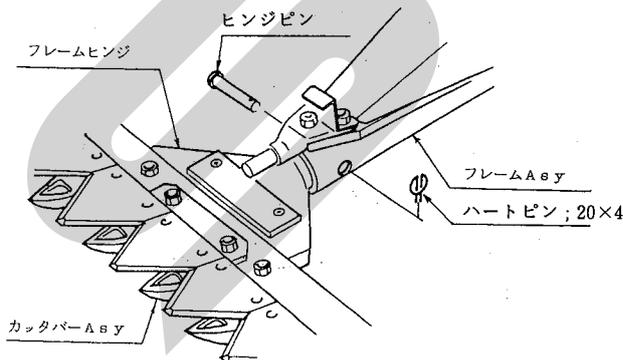
下記明細に基づき、必要部品がそろっているか確認してください。

符号	品番	名称	個数
・フレームユニット			
①		フレーム A S Y	1
②	24780	ヒンジピン	1
③	26743	ハートピン ; 20×4	1
④	104090	ブラケット	1
⑤	BZ0825WG	ボルト ; M 8 × 25 (Sワッシャ付)	2
・カッターユニット			
⑥		カッター A S Y	1
⑦		ナイフヘッド A S Y	1
⑧		シャリン A S Y	1
⑨	00087	ベータピン ; 16×2.3	1
⑩	00460	カクネボルト ; M 8 × 30 (ナット ; Sワッシャ付)	2
⑪	NZ08WG	ナット ; M 8 (Sワッシャ付)	2
⑫	58321	ナイフセクション (スペア用)	5
⑬	RR5016	マルリベット ; 5 × 16 (スペア用)	10

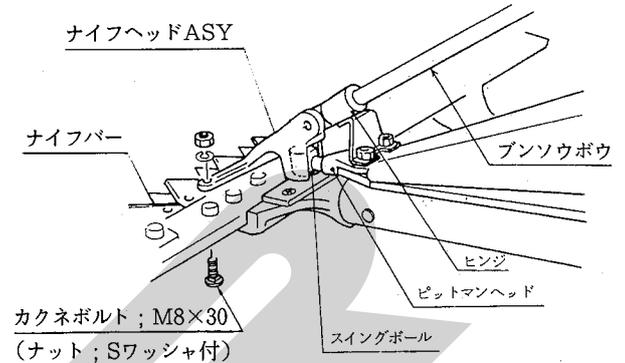
3. 組立要領

下記の順序に従って組み立ててください。

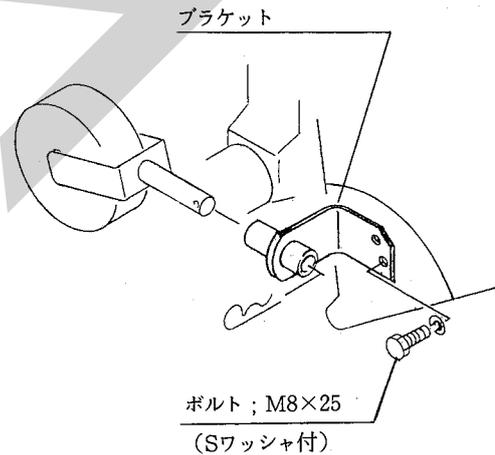
- (1) ニギリ ; M 8 を引き、スタンドを立てます。
- (2) カッター A S Y をフレーム A S Y に差し込みます。
- (3) ヒンジピンをフレーム A S Y の長穴に差し込み、ハートピン ; 20×4 で抜け止めをします。



- (4) ナイフケースをカッター A S Y から取り外します。
- (5) スイングボールをピットマンヘッドに差し込みます。
- (6) ナイフヘッド A S Y をナイフバーにカクネボルト ; M 8 × 30 とナット ; M 8 (Sワッシャ付) で取り付けます。



- (7) ナイフケースをカッター A S Y に取り付けます。
- (8) ブラケットをティラー右側カバー部のボルト ; M 8 × 16 (2本) を取り外し、ボルト ; M 8 × 25 (Sワッシャ付) で取り付けます。



4 ティラーへの装着

1. ティラーへの連結

▲ 注意

- 作業機をティラーに着脱する時、エンジンをとめずに行うと、誤操作によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をティラーに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- (1) ティラーのヒッチロックレバーを「解除」にしてください。
- (2) ティラーの走行クラッチレバーとPTOクラッチレバーを「切」にし、チェンジレバーを「N」にしてください。
- (3) エンジンを止めてください。
- (4) ティラーのハンドルを最下段にしてください。
- (5) ティラーのスタンドを折りたたみ、ハンドルを持ち上げるようにしてヒッチ部を合わせ、ハンドルを下へ押し下げてください。
- (6) ティラーのヒッチロックレバーを「ロック」にしてください。
- (7) 作業機のスタンドを折りたたんでください。

取扱い上の注意

PTOジョイントが入らない時は、作業機をティラーから切り離してください。
PTOクラッチレバーを「入」にして、エンジンのスタータノブを少し引き、PTOジョイントの位置を変えて、最初からやり直してください。

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. ティラー各部の点検

- (1) ティラーの取扱説明書及びエンジンの取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- (2) ティラー車軸に車軸カバーパイプが取り付けられているか。
車軸カバーパイプを取り外している時は、取り付けてください。

2. 連結部の点検

- (1) ティラーと作業機の連結部点検
 - ① ティラーのヒッチロックレバーが「ロック」になっているか。
 - ② ティラーのスタンドが折りたたまれているか。
 - ③ 作業機のスタンドが折りたたまれているか。
 - ④ 不具合が見つかった時は、「1-4-1 ティラーへの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

3. 製品本体の点検

- (1) カッターの取付ボルトにゆるみはないか。
- (2) ナイフヘッドの取付ボルトにゆるみはないか。
- (3) ピットマンレバーの取付ボルトにゆるみはないか。
不具合が見つかった時は増し締めしてください。

- (4) 各部の給油は十分か。
油脂が不足している時は、「2-3 給油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。

2 エンジン始動での点検

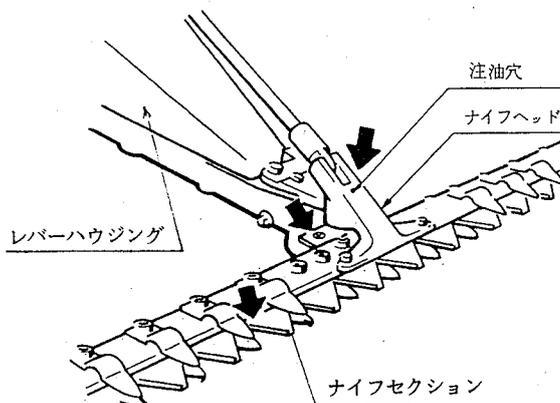
▲ 注意

- エンジンを始動する時、走行クラッチ及びPTOクラッチを切り、チェンジレバーを「N」にして行わないと、ティラーが暴走したり、作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
走行クラッチ・PTOクラッチを切り、チェンジレバーを「N」にして行ってください。

1. ティラーの走行クラッチ、PTOクラッチが作動するか。
不具合が見つかった時は、ティラーの取扱説明書に基づき不具合を解消してください。
2. 空運転を行い、異常音、異常発熱がないか。
不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

3 給油箇所一覧表

- 給脂するグリースは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ナイフヘッド	2	ギヤオイル；VG220	使用毎	適量	注油穴と摺動部に注油
2	ナイフセクション	—	〃	〃	〃	ナイフ摺動部に注油
3	レバーハウジング	1	グリース；2号	〃	〃	グリースニップル

※ギヤボックスには良質なりチウム系グリース；0号（700g）を封入しておりますので、交換は不要です。

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的

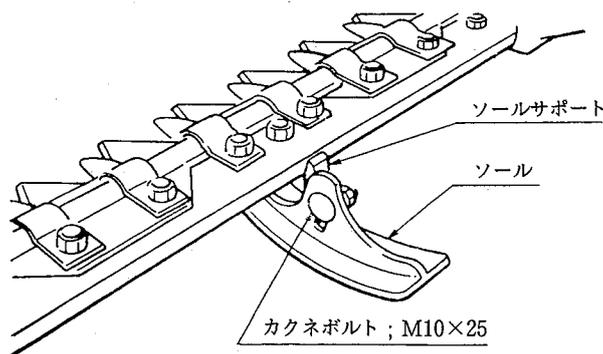
1. 本製品は、ほ場においての牧草の刈取作業に使用します。
他の用途には使用しないでください。
2. 雨上がり直後のほ場、ぬかるみのあるほ場、湿気の高いほ場では、作業を行わないでください。
ほ場が良く乾いてから作業を行ってください。

2 作業を始める前に

1. 作業状態への切替え
 - (1) ナイフカバーを取り外します。
 - (2) 運搬用のシャリンを作業機のフレームから取り外し、ティラー側のブラケットに取り付けます。
 - (3) ティラーと作業機のスタンドが折りたたまれていることを確認してください。

3 作業のための調整

1. 刈高さの調整
刈高さはカクネボルト；M10×25をゆるめ、ソールの高さを変えることにより、30～60mmの範囲で調整できます。
ほ場条件や作業条件に合わせ、左右のソールを同じ高さに調整してください。



4 作業要領

▲ 注意

- 運転中、刈取部に接触すると切断され、ケガをする事があります。
手足を入れないでください。

1. 作業速度とエンジン回転数

- (1) エンジン回転数は1600～1800rpm で作業します。
- (2) 作業速度
通常、2～3速で作業します。

2. 作業方法

刈取に際しては、向かい刈り（草が進行方向と逆に傾いたり、倒れている方向に刈り取る）になるように作業を工夫すると、刈りやすく、刈り跡もきれいになります。

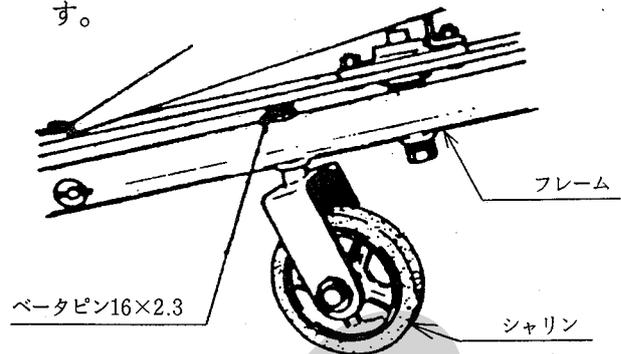
5 運 搬

▲ 警 告

- 坂道でサイドクラッチを操作すると、ティラーが思わぬ方向に急旋回し、事故を起こす事があります。
速度を遅くしてハンドル操作で旋回してください。
- 後進する時、足元や後方に障害物があると、転倒しティラーに巻き込まれたり障害物との間に挟まれてケガをする事があります。
障害物をさけ、低速で後進してください。

1. 作業状態への切替え

- (1) PTOクラッチを切ってください。
- (2) 運搬用のシャリンをフレームに取り付けます。



- (3) ナイフカバーをカッターに取り付けます。
- (4) ティラーと作業機のスタンドが折りたたまれている事を確認し、移動を開始してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

1 作業後の手入れ

▲ 注 意

- エンジンをとめずに、回転部や可動部の付着物の除去作業などを行うと、誤操作または第三者の不注意によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品等に傷つけますので、完全に取り除い

てください。

2. ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか。
又、破損部品がないか確認してください。
不具合が見つかった時は、ボルトの増し締め、部品交換等の処置をしてください。
3. ナイフセクションは消耗品です。
早めに予備品を準備してください。
4. 「給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
5. 作業が終わったら、ナイフカバーを取り付けてください。

2 ティラーからの切り離し

▲ 注意

- 作業機をティラーに着脱する時、エンジンをとめずに行うと、誤操作によりティラーが暴走したり、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をティラーに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

1. ティラーの走行クラッチレバーとPTOクラッチレバーを「切」にし、チェンジレバーを「N」にしてください。
2. エンジンを止めてください。
3. ティラーのハンドルを最下段にしてください。
4. 作業機のスタンドを立ててください。
5. ティラーのヒッチロックレバーを「解除」にしてください。

6. ティラーのハンドルを上を持ち上げるようにして、切り離してください。
7. 後方へ移動して、ティラーのスタンドを立ててください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は交換してください。
3. 「給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点および摺動部には注油してください。
特に、カッターは汚れをとり、全体に注油し、錆の発生を防いでください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、錆の発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
6. やむをえず屋外に保管する時は、シートをかけてください。

5 点検・整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき各部の点検整備を行い、機械を最良の状態安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめず作業すると、誤操作または第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のため外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

時 間	点 検 項 目	処 置
新品使用1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターバー、ナイフヘッド、ピットマンヘッド、ピットマンレバーの取付ボルト・ナットのゆるみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・増し締め
作 業 前 作 業 後	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルト、ナットのゆるみ ・ナイフセクションのゆるみ ・ナイフバーのねじれ、曲がり ・部品の脱落、破損 ・回転部、可動部の給油 ・ギヤボックスの油もれ ・機械の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・増し締め ・リベットをかしめ直す ・ナイフバーを修正する ・補充、部品交換 ・「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 ・オイルシールの交換と給油 ・「4-1 作業後の手入れ」に基づき清掃
シーズン終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・破損部 ・摩耗部 ・塗装損傷部 ・各部の清掃 ・カッターバー全体に注油 	<ul style="list-style-type: none"> ・補修、部品交換 ・早めの部品交換 ・塗装または油塗布

2 各部の調整

1. ナイフセクションの研磨

ナイフセクションが摩耗して切れ味が悪くなった時は、正しく研磨して使用してください。

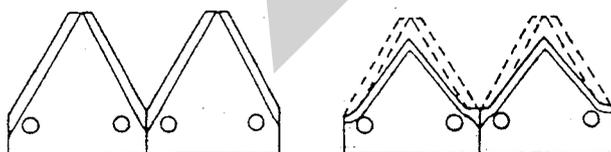
ナイフセクションは摩耗するにしたがい短くなりますので、著しく摩耗したり、破損したら交換してください。

A-新品のナイフ

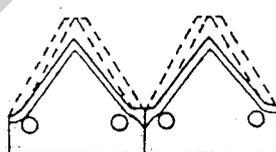
B-研磨不良：切断角度が変わったため、切れ味が悪くなります。

C-研磨良

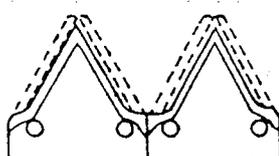
D-研磨不良：ナイフのセンターがずれているため、切れ味が悪くなり、刈り残しが発生します。



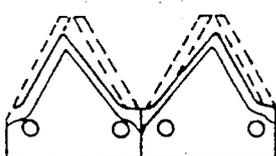
A



B



C



D

2. ナイフセクションの交換

リベットの頭をグラインダで削り落とし、ピンポンチでリベットを抜き取ります。

新しいナイフセクションはリベットをしっかりとかしめて取り付けてください。

3. ナイフバー A s Y の交換

ナイフヘッド取付のカクネボルト；M8×30を外し、ナイフバー A s Y を横に引き抜いて交換してください。

ナイフセクションやナイフバーが曲がったりして引き抜けない時は、ナイフクリップの取付ボルトをゆるめてください。

4. ナイフクリップとウェアリングプレートの調整

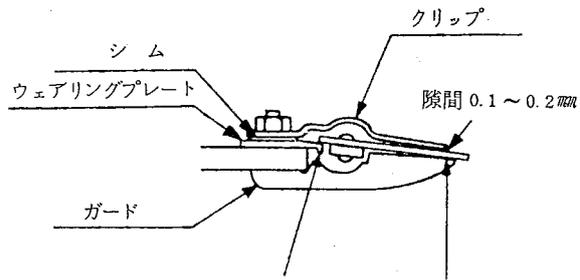
(1) ナイフクリップとナイフセクションの隙間が0.1～0.2mmになるように、シムで調整します。

(2) ナイフセクションの先端がチップレスガードに接していない時は、ウェアリングプレートを出してナイフセクションの後部を支えるように調整します。

(3) ナイフクリップの先端が上がっている時はナイフクリップを下に曲げて調整してください。

ナイフセクションはチップレスガードの前方で当たるように調整します。

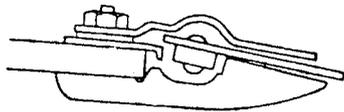
- (4) チップレスガードが曲がったり、摩耗した時は、すぐに交換してください。
- (5) ナイフバーが正しく調整されていると、手でスムーズに動かすことができますので、確認してください。



ウェアリングプレートはナイフセクションの後部を支える様にする

ナイフセクションはガードの前方で接する様にする

正しい調整



悪い調整

6 不調時の対応

万一、機械の調子が悪い場合は「不調処置一覧表」に基づき、処置してください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、ティラーや作業機が不意に動き出して、ケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、誤操作または第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOクラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のため外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
<ul style="list-style-type: none"> ・刈高さが不均一 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイフセクションの摩耗・破損 ・ナイフクリップとナイフセクションの隙間が広い ・チップレスガードの破損 	<ul style="list-style-type: none"> ・「5-2各部の調整」に基づき研磨又は交換 ・「5-2各部の調整」に基づき調整 ・チップレスガードの交換
<ul style="list-style-type: none"> ・ナイフセクションやナイフバーがしばしば折れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈高さが低すぎる ・ナイフクリップとチップレスガードの隙間が狭すぎる ・ウェアリングプレートとナイフバーの隙間が狭すぎる ・チップレスガードが曲がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「3-2-1 刈高さの調整」に基づき調整 ・「5-2 各部の調整」に基づき調整 ・ウェアリングプレートを後方に下げ、ナイフバーとの隙間を増やす ・チップレスガードの交換
<ul style="list-style-type: none"> ・パタパタと草をたたく感じの音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイフセクションの摩耗・破損 	<ul style="list-style-type: none"> ・「5-2 各部の調整」に基づき研磨又は交換
<ul style="list-style-type: none"> ・カバー類の騒音や振動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルトのゆるみ ・カバーの破損 	<ul style="list-style-type: none"> ・増し締め ・補修又は交換
<ul style="list-style-type: none"> ・刈り跡がきたない (ナイフセクションがチップレスガードの先端から隣の先端まで動いていない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットマンレバーの駆動ベアリングが破損 ・フレームが曲がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベアリングの交換 ・部品交換

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式 (型式)
3. 製造番号
4. 故障内容 (できるだけ詳しく)

7 部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式 (型式)
- ③ 部品名称 (部品表を参照してください)
- ④ 部品番号 (部品表を参照してください)
- ⑤ 個 数 (部品表を参照してください)

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

(例)

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト  2付	2
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の、は、以下のことを表しております。

…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品

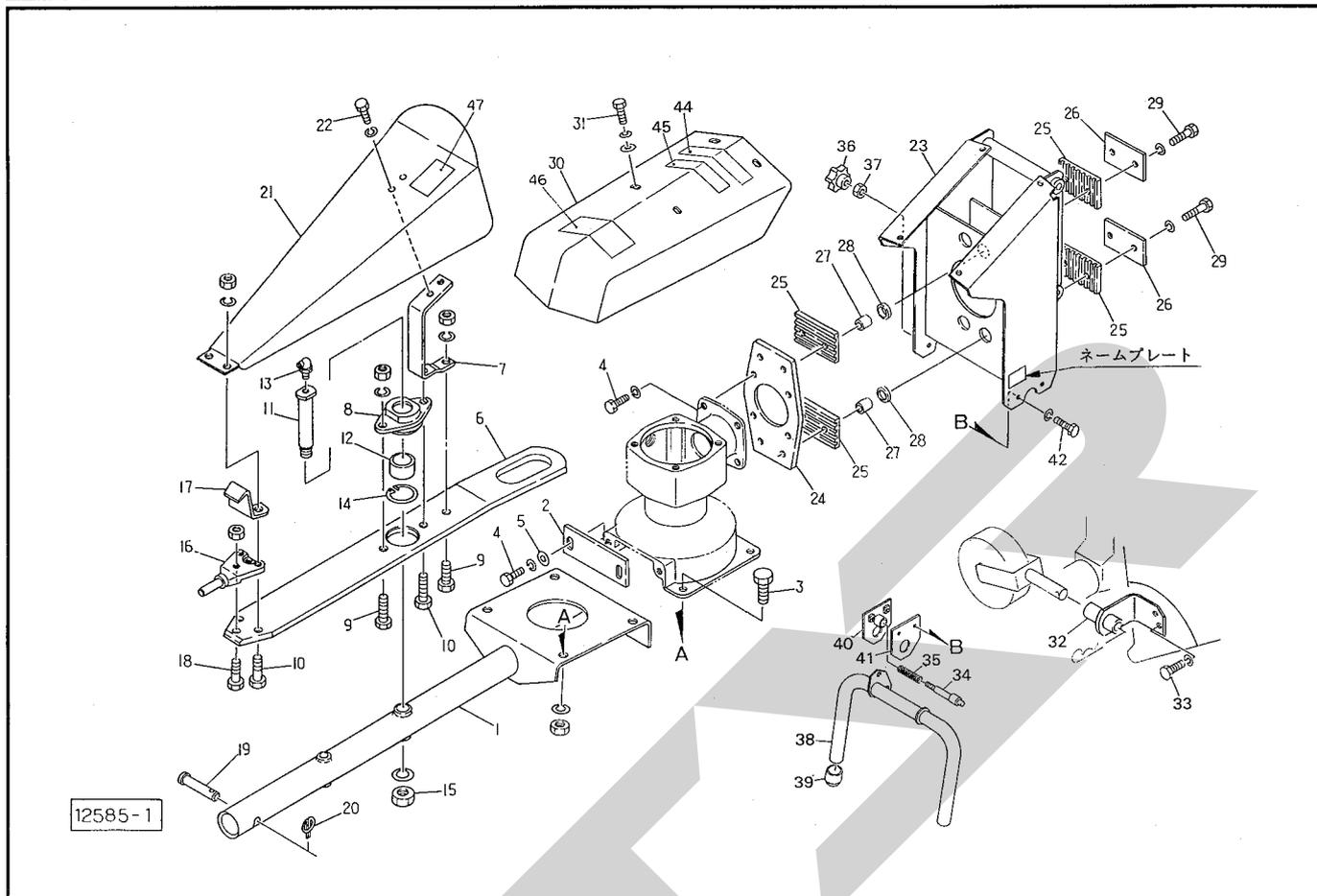
…アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限 (期間) は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

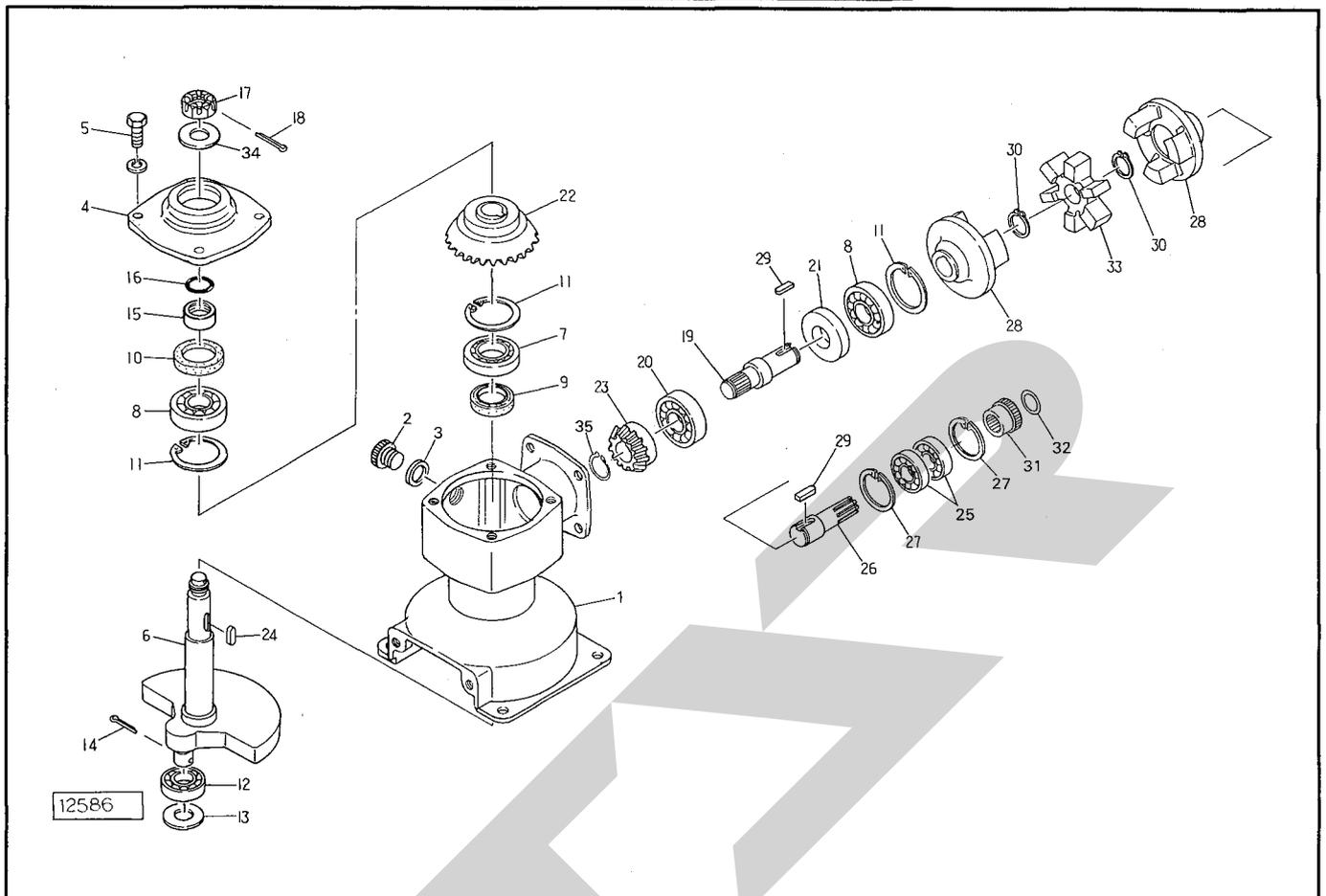
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

HFM 1370 フロントモーア フレーム



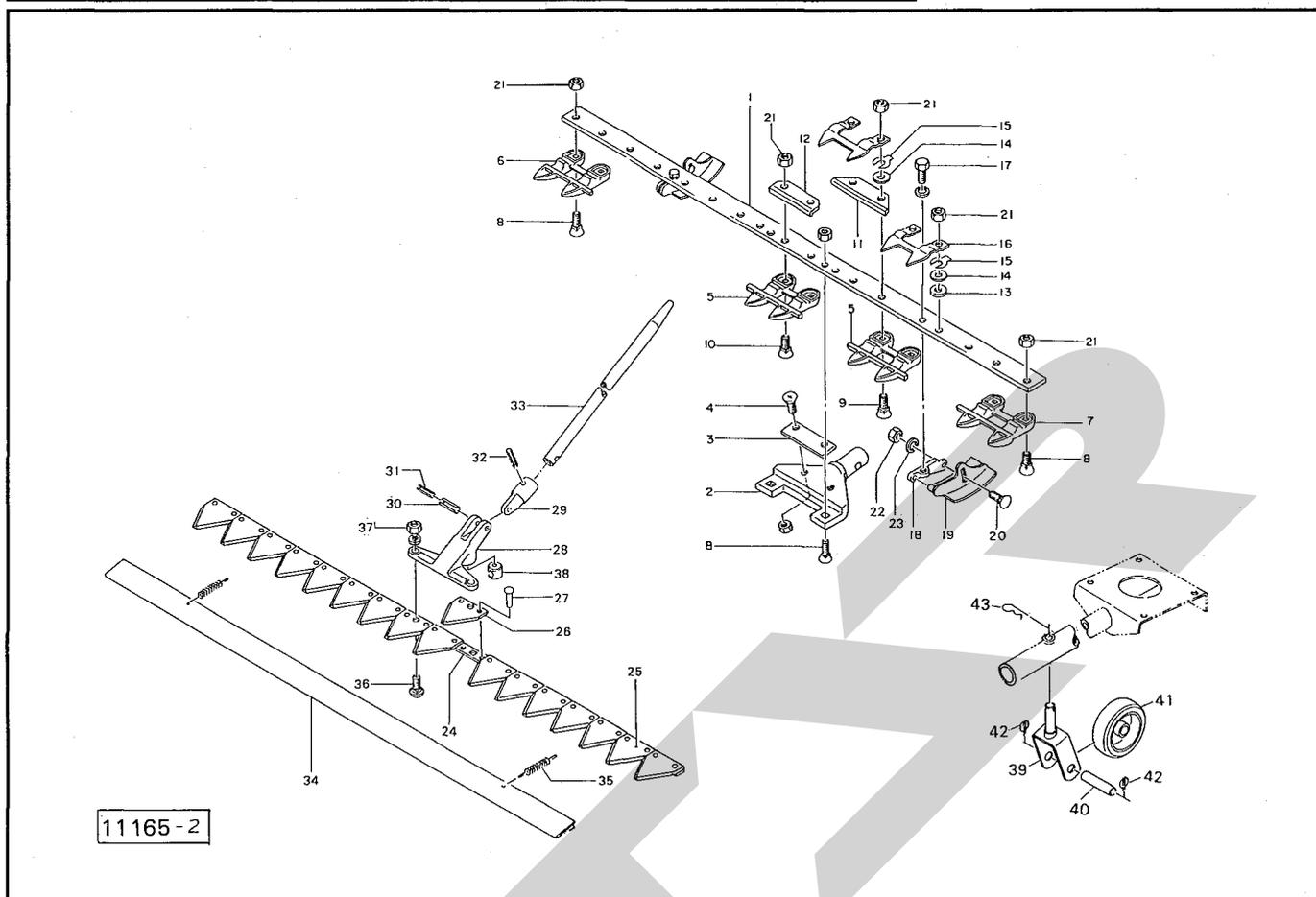
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	90874	フレーム	1	26	90881	プレート	2
2	86128	プレート	1	27	61481	カラー	4
3	BZ1230AG	ボルト ; M12×30 (8.8)	4	28	61482	カラー	4
4	BZ1025WG	ボルト ; M10×25 (8.8)	6	29	BZ1040WG	ボルト ; M10×40 (8.8)	4
5	44098	ワッシャ ; 10	2	30	90883	フロントカバー	1
6	90876	ピットマンレバー	1	31	BZ0820PWG	ボルト ; M8×20 (8.8)	4
7	62378	チャンネル	1	32	104090	ブラケット	1
8	86129	レバーハウジング	1	33	BZ0825WG	ボルト ; M8×25 (8.8)	2
9	BZ1030AG	ボルト ; M10×30 (8.8)	2	34	86287	ロックピン	1
10	BZ1035AG	ボルト ; M10×35 (8.8)	3	35	67032	スプリング	1
11	86130	シャフト ㊦13付	1	36	44289	ニギリ ; M8	1
12	JHSL04	ニードルベアリング ; HSL04	1	37	NZ08G	ナット ; M8 (8)	1
13	ONCS6	グリースニップル ; C-M6×1F	1	38	104092	スタンド	1
14	DHC40	スナップリング ; H40	1	39	00689	ニギリ ; 24	2
15	NZ16WG	ナット ; M16 (8)	1	40	90885	ブラケット	1
16	26752	ピットマンヘッド	1	41	90886	ブラケット	1
17	62379	ステー	1	42	BZ0820WG	ボルト ; M8×20 (8.8)	4
18	BZ1030NG	ボルト ; M10×30 (8.8)	1				
19	24780	ヒンジピン	1	44	86246	STAR マークラベル ; 25シロ	1
20	26743	ハートピン ; 20×4	1	45	104231	ラベル ; ニューファームメイトインブル	1
21	62401	ピットマンカバー	1	46	106419	ラベル ; ケイコク38	1
22	BZ0816WG	ボルト ; M8×16 (8.8)	2	47	106503	ラベル ; ケイコク89	1
23	104089	ヒッチ	1				
24	90879	プレート	1				
25	90880	パット	4				

HFM 1370 フロントモータ ギヤボックス



番	部品番号	部品名称	個数	番	部品番号	部品名称	個数
1	104078	ギヤボックス ②・3付	1	26	104084	シャフト	1
2	00348	グリースセン; PF1/2	1	27	DHC47	スナップリング; H47	2
3	00328	パッキン; 30	1	28	90882	カップリング	2
4	104079	キャップ	1	29	KFB07070200	キー; 7×7×20 (片丸)	2
5	BZ1025WG	ボルト; M10×25 (8.8)	8	30	DC25	スナップリング; S25	2
6	104080	クランクシャフト ④14・18付	1	31	104011	PTO ジョイント (オン)	1
7	J6206	ベアリング; 6206	1	32	104012	リング	1
8	J6305LLU	ベアリング; 6305LLU	2	33	74443	ゴムカップリング	1
9	D30507	オイルシール; D30507	1	34	46001	ワッシャ; 20	1
10	D35558	オイルシール; D35558	1	35	DC20	スナップリング; S20	1
11	DHC62	スナップリング; H62	3				
12	J6204LLU	ベアリング; 6204LLU	1				
13	WRA20G	ワッシャ; M20	1				
14	PC5036G	ワリピン; 5×36	1				
15	86124	カラー	1				
16	ORG25	Oリング; G25	1				
17	NC2L20150G	キャッスルナット; M20×1.5(2種低形)	1				
18	PC4025G	ワリピン; 4×25	1				
19	104081	シャフト	1				
20	J6304	ベアリング; 6304	1				
21	D305512	オイルシール; D305512	1				
22	104082	ベベルギヤ; 39T	1				
23	104083	ベベルギヤ; 12T	1				
24	KFC07070200	キー; 7×7×20 (両丸)	1				
25	J6005LLU	ベアリング; 6005LLU	2				

HFM 1370 フロントモーア カッター



畧号	部品番号	部品名称	個数	畧号	部品番号	部品名称	個数	
Asy	62387Asy	カッターAsy	①1~38付	1	24	62395	ナイフバー	1
1	62388	カッター	1	25	58321	ナイフセクション (5枚スペア付)	15	
2	62392	フレームヒンジ	1	26	62396	ナイフセクション; 2	2	
3	62393	プレート	1	27	RR5016	マルリベット; 5×16 (10本スペア付)	34	
4	CP0820G	サラコネジ; M8×20	2	28	62397	ナイフヘッド	1	
5	58301	チップレスガード (W)	7	29	62398	ヒンジ	1	
6	62390	チップレスガード (W) ; R	1	30	PS0832	スプリングピン; 8×32	1	
7	62389	チップレスガード (W) ; L	1	31	PS0532	スプリングピン; 5×32	1	
8	00370	カクネサラボルト; M12×35	6	32	PS0630	スプリングピン; 6×30	1	
9	44372	カクネサラボルト; M12×45	12	33	26741	ブソウボウ	1	
10	43107	カクネサラボルト; M12×40	2	34	24839	ナイフケース	1	
11	58305	ウェアリングプレート	4	35	24840	スプリング	2	
12	62391	ウェアリングプレート; 2	1	36	00460	カクネボルト; M8×30	2	
13	58306	シム; 3.0	-	37	NZ08WG	ナット; M8 (8)	2	
14	58307	シム; 1.2	-	38	26755	スイングボール	1	
15	59923	シム; 14×0.2	-	39	24845	シャリンシジアーム	1	
16	58304	ナイフクリップ; L	6	40	24846	シャジク	1	
17	BZ1230WG	ボルト; M12×30 (8.8)	2	41	24847	シャリン	1	
18	71439	ソールサポート	2	42	26743	ハートピン; 20×4	2	
19	24838	ソール	2	43	00087	ベータピン; 16×2.3	1	
20	00451	カクネボルト; M10×25	2					
21	NZ12G	ナット; M12 (8)	20					
22	NZ10G	ナット; M10 (8)	2					
23	WS10G	Sワッシャ; M10	2					
Asy	62394Asy	ナイフバーAsy	①24~27付	1				

SFAA

SFAA

SFAA

調 整

S-010412E

本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 营 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭 川 营 業 所 070-8004 旭 川 市 神 楽 4 条 9 丁 目 3 番 35 号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊 富 营 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1191 番 地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 营 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 12 番 地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北 見 营 業 所 090-0001 北 見 市 小 泉 3 0 2
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中 標 津 营 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 16 番 2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花 巻 营 業 所 025-0312 岩 手 県 花 巻 市 二 枚 橋 第 三 地 割 333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙 台 营 業 所 985-0845 宮 城 県 多 賀 城 市 町 前 2 丁 目 4 番 27 号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小 山 营 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名 古 屋 营 業 所 480-0102 愛 知 県 丹 羽 郡 扶 桑 町 大 字 高 雄 字 南 屋 敷 191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松 本 出 張 所 399-0033 長 野 県 松 本 市 大 字 笹 賀 5 8 2 4 - 5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡 山 营 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 营 業 所 862-0939 熊 本 県 熊 本 市 長 嶺 南 1 丁 目 2 番 1 号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都 城 营 業 所 885-0004 宮 崎 県 都 城 市 都 北 町 3 5 3 7 - 1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644